

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名		統一的な基準による地方公会計制度導入事業		担当部署	企画総務部 財政課	
総合計画体系				根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業期間	開始	平成 27 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと			終期	~平成29年度
(小項目)		行財政運営				
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進				
基本事業	2	財政の健全化				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 本市全部門及び第三セクター等の財務情報						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	総務大臣要請を受け、固定資産台帳の整備や発生主義・複式簿記の導入(期末一括仕訳方式予定)を前提とした、統一的な基準による地方公会計制度に対応した財務書類を作成する。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	総務省新基準に基づく財務書類の作成に向け、準備作業を進めていく。 また、総務省方式改訂モデルにより、平成26年決算に基づく財務書類の作成を行う。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		統一的な基準による地方公会計制度の整備	-	50	100	-	/	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①固定資産台帳整備のため、建物や土地、工作物などの市有財産の調査を行った。 ②実務に関して、国や県、他市の動向の情報収集を行った。 また、統一的な基準による地方公会計制度に基づく財務書類の作成に向け、研究を進めた。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
	指標名	26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 建物台帳の整備	-	50	-	-	/	%
	2 全ての固定資産の台帳の整備	-	-	100	-	/	%
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	統一的な基準による地方公会計制度の整備		50	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)	/	100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	0	10,000	10,000
		全体予算額	0	0	0	0	8,998	8,998
		決算額	0	0	0	0	8,998	8,998
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費
0.1	0.0		686		9,684			

## 【事務事業名：統一的な基準による地方公会計制度導入事業】

(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	0	8,998	8,688	-	
	うち一般財源	0	8,998	8,688	-	
	人件費	0	686	686	-	
	総事業費	0	9,684	9,374	-	

## ◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		市有財産の管理状況を把握し、統一的な基準に基づき整備を行った。
	効率性	B:概ね効率的だった		膨大な市有財産情報の整理などにあたっては、一部委託を行うなど費用対効果を勘案しながら整備を進めた。
②成果に対する評価	指標名	統一的な基準による地方公会計制度の整備		2ヶ年事業で台帳整備を目標としており、まず建物の台帳整備を完了した。
	目標	50	%	
	実績	50	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		2ヶ年事業で台帳整備に取り組んでおり、当初の予定どおり建物部分を整備できたことから、A評価としたい。

## ◎今後の方向性(ACTION)

課題	複式簿記を導入した財務諸表を作成するために必要な既存システムや他会計との連携について検討を行う。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	固定資産台帳の整備を完了し、27年度末時点の開始貸借対照表の作成に向けたシステム改修等を行う。			
	平成29年度	28年度決算数値を用いた統一的な基準に基づく財務諸表を作成、公表する。			